

2016
0721
No.
28



すずしん

新発想で
つくろう。
豊かな
人口減少社会

シズオカを世界に売り込め

SHIZUOKA は殆ど無名

今年度の県議会では、私は産業委員会に所属（副委員長）しています。文字通り、静岡県の産業に関する様々な問題を扱う委員会ですので、今年度は特に県内外の産業の現場に行き、課題や対応策について徹底的に学んで議論や提案をしたいと考えています。

参院選投票日翌日（7月11日）に開催された本年度最初の産業委員会で先ず議論したのは、「静岡ブランド」を如何に確立するかについてです。何故なら、海外の様々な方々との交流を通じ「シズオカ（SHIZUOKA）」が如何に知られていないか強く実感しているからです。

例えば、外国の方に「SHIZUOKA から来た」と自己紹介しても、ピンと来る方は余程の日本通です。「へえ～、SHIZUOKA から来たんだ」という返事は基本的に期待できません。それよりも「富士山のある SHIZUOKA から来た」と最初から言った方が「あの富士山の近くから来たのか」「富士山なら知ってるよ」というように会話が進みやすいのはまず間違いありません。川勝知事が7年前に就任して以来「ふじのくに」という名称が良く使われるようになってきているのも、世界的に有名な富士山を前面に出し静岡と結びつけることによって静岡の知名度やブランド力を高めることを大きな目的の一つとしているからです。

このように、富士山の名称やイメージを上手く使うことが、SHIZUOKA やその製品を世界に売り込むのに最も手っ取り早い方法だと私

も考えています。もちろん、実際に SHIZUOKA を売り込むのに必要な戦略は単純な話だけではすみません。県ではこの7月から「マーケティング戦略本部会議」を設置し、民間の専門家も入ったの本格的な議論を開始しました。その行方を私も注目していきたく思います。



7月8日放送の「すずしんラジオ」では、地元駿河区の「株式会社サンファーマーズ」さんがブランド管理している「アメーラトマト」等を紹介しました。

「静岡茶」はブランド？

ブランドのあり方が大きな課題になっているものの代表に「お茶」が挙げられると私は以前から考えています。日本一のお茶処である静岡県内で作られているお茶の総称として「静岡茶」と呼ぶことはよくありますが、「静岡茶」とは果たして国内外で十分に認知されたブランドなのでしょうか？

茶農家や茶商の方にとっては、静岡茶よりはむしろ「本山茶」「川根茶」「掛川茶」等の狭い地域のブランドの方に強い思い入れがあるで

しょう。一方、静岡県から暫く離れて暮らしていた私にも良くわかりますが、他県ではそうしたそれぞれの地域ブランドに詳しい方は多くはなく、静岡茶という一括りで販売される方が一般的だと思います。しかしながら、「宇治茶」「狭山茶」等の有名なお茶をそれぞれ「京都茶」「埼玉茶」と呼ぶことは殆どないでしょう。他県とは違い県内各地で様々なお茶が盛んに生産されているが故の問題と言えますが、「本山茶」等の狭い地域のブランドも「静岡茶」も、残念ながら位置付けが曖昧でブランド力不足と言わざるを得ないと思います。

また、世界に目を転じてみれば、紅茶好きの方でしたら「ダージリン」「アッサム」等のブランドをご存知でしょう。それぞれインドのダージリン地方、アッサム地方で生産された紅茶を指します。一方、自分の留学経験からも言えるのですが、日本一のお茶処である静岡のお茶が静岡茶「SHIZUOKA TEA」として紹介されることは殆どありません。「JAPANESE TEA(日本茶)」の名称の方が遥かに一般的でしょう。

国内では消費量や価格の下落、後継者不足等の課題がありますが、健康食品としてのお茶の再評価、和食や抹茶の人気に伴う世界的な緑茶需要の増大等、チャンスも広がりつつあります。ただそうした、特に海外での好機を活かすには、静岡のお茶のブランド建て直しが不可欠でしょう。前述の戦略本部会議でも議論される予定ですが、静岡茶というブランドはむしろ捨てて、「魚沼産コシヒカリ」「夕張メロン」のように各々の狭い地域ブランドの高品質さや違いを明快に打ち出す、「富士山ブランド」に統一する等の大胆さが必要なのではないのでしょうか。

ブランド化に成功した 北海道を見習うべき

静岡県と対照的なのが北海道です。JR有楽

町駅前の東京交通会館1階に北海道のアンテナショップ「北海道どさんこプラザ」があります。年間の利用者数は平成26年度で約230万人。私も何度か行ったことがあります。いつも人だかりです。一方、同じビルの地下1階にある静岡県の東京観光案内所(英語名: Shizuoka Mt.Fuji Green-tea Plaza)の平成26年度の来場者数は1日平均51名、年間1万8千人程しか来ていません。

「北海道の食べ物は美味しい」というイメージ、北海道ブランドが広く定着しており、だからこそ、静岡市内でも頻繁に「北海道物産展」が開かれています。北海道ブランドは海外でも認知され、「北海道どさんこプラザ」は今やシンガポールにも出店しています。中国人観光客が北海道銘菓の「白い恋人」やロイズのチョコレートを静岡空港で沢山買っていきそうですが、これも北海道ブランドの賜物でしょう。



シンガポールにある「北海道どさんこプラザ」。今年の3月に実際に見てきました。

北海道のようにブランドを確立するのは決して容易ではないでしょう。しかし、静岡県にも北海道に負けない位の素晴らしい観光地や美味しい食べ物が沢山あるのですから、まずは興味を持ってもらうことが先決でしょう。そのためには、中途半端なことをせず、市町と共同で大規模のアンテナショップを開設したり海外でも積極展開をしたりする位の「目立つ」取り組みも必要なのではないのでしょうか。引き続き私なりに方策を追究したいと思います。

お読み下さりありがとうございます。『すずしん』に関するお問い合わせは…

静岡県議会議員すずきさとる事務所 〒422-8041 静岡市駿河区中田1-11-19
電話 054-281-3715 FAX 054-281-3716 E-mail: mail@suzukisatoru.net
開所時間: 月~金(休祝日除く) 9時~15時 ※南幹線沿いにあります



● 地元で根ざした事務所を目指しています。県議会について話を聞きたい、どこに相談していいのかわからないという方、遠慮なくご連絡下さい! すずきさとる

すずきさとるの
すずしんラジオ

毎月第2金曜日
午後6時30分
FM・Hi!で放送中

76.9
FM・Hi!